

第42号

令和4年9月30日

富山県砺波農林振興センター
農業農村整備広報・広聴連絡会議
〒939-1386 砺波市幸町1番7号
電話(0763)32-8124【指導課】

- ・副知事現地視察
- ・県営 農村地域防災減災事業（ため池整備）
野地地区 竣工式
- ・中山間地域チャレンジ支援事業の採択地区紹介
- ・農業用水路安全対策ワークショップ開催

☆砺波農林振興センター
管内の情報をホームページ
で発信中！！
<http://www.pref.toyama.jp/branches/1633>



となみの野水士里通信

副知事現地視察

8月8日の炎天下の中、横田副知事現地視察を南砺市内の3地区（令和5年度新規採択要望の遊部地区、現在実施中の天神地区、祖谷地区）で行いました。

冒頭に、管内全体の農地整備事業の取組状況を説明した後、現況10aの小区画田を大区画田にする遊部地区では、事前調査を含めると調整等に時間を要することを説明し、天神地区では、農業普及サイドとの連携により、現場条件に対応した水路整備にて排水性の向上を図り、事業を契機とした高収益作物「にんじん」の導入事例を説明しました。また祖谷地区では、夏場施工による重機稼働状況を見ながら、埋蔵文化財保護のために必要な盛土工等を説明し、ほ場整備前後の地形の変状に大変驚いておられました。

横田副知事には、事業実施による効果発現までには多大な労力と時間が必要であること、工事と営農を平行して行うには地元関係者との密接な調整が必要であること、農業経営の高度化・複合化には農地整備事業が必要不可欠であることを十分理解していただきました。



南砺市天神地区で担当職員から説明を受ける横田副知事

県営農村地域防災減災事業（ため池整備）野地地区 竣工式

農村地域防災減災事業（ため池整備）野地地区の竣工式が8月30日に武田県議会議員や南砺市ブランド戦略部前山農政課長をはじめ地元関係者、工事関係者など多数出席のもと執り行われました。

「野地溜池」は大正15年に整備された溜池で、築堤後100年近くが経過し老朽化や遮水シートの破損、堤体法面部からの漏水が発生していたことに加え、地震など防災上の安全対策から大規模改修の必要が迫られている状況でした。このことから、平成29年度に県営農村地域防災減災事業（ため池整備）として着手し、令和4年6月にすべての工事を完了しました。

今回の改修により、「野地溜池」は、地区住民が安全で安心して暮らせるよう、地震にも大雨にも強いため池となりました。



完成した野地溜池の全景

中山間地域チャレンジ支援事業の採択地区紹介

中山間地域の集落と企業や団体等が連携して行う地域活性化のための取組支援について、継続7地区に加え、新たに4地区が採択されました。

「雄神楽天塾」では、雄神公園の一角を「ふれあい広場」として花壇やベンチを整備し、「雄神農産物直売所」と連携した青空ランチ会やスポーツ交流会、ふれあい青空市の開催により地域コミュニティの活性化を図ります。

「ふく福柿出荷組合」では、耕作放棄地を活用した循環型農業による酒米栽培に若手農業者にサポーターとして参加してもらい、「ふく福加工施設」においてオリジナル酒販売やスイカ等、特産品の加工販売、収穫感謝祭を開催し、交流拠点とします。

「土山自治会」では、とやま農業・農村サポーター等と連携し、耕作放棄地でのさつまいもの植え付けや収穫祭、ウォーキングなどのイベントを開催するとともに、地元の女性が中心となって考案した地元食材を使ったランチを提供する「おねえちゃん食堂」を開設して土山地域のファンづくりに繋がります。

「やまのいもっこ倶楽部」では、里芋栽培体験により、新規就農者を呼び込むことで、作付面積の拡大や後継者育成を図り、野菜直売所「ふれあい広場やまの」での販売や収穫祭、料理教室の開催などを通して地域の賑わいの創出を図ります。

中山間地域を元気にするため、創意工夫を活かして頑張っておられる各団体へのご支援をよろしくお願ひします。

農業用水路安全対策ワークショップ開催

県では令和元年度に策定した「富山県農業用水路安全対策ガイドライン」に基づき、地域の方が多様な意見を出し合うワークショップをこれまで県内50地区で開催しています。本年度、砺波（高儀新）地区において8月30日に開催されました。

当日は、危険箇所を把握するため事前に現地確認したマップを基に、参加者が3つの班に分かれて様々な意見を出し合い、班毎に意見をまとめ、発表されました。

地域の実情に詳しい住民目線での危険箇所が明らかとなり、今後はこれらを集約した「危険箇所マップ」を作成し、地域における継続的な安全意識啓発などに活用されます。



テーブルを囲んで意見を交わす参加者たち

編集後記

令和4年の北陸地方の梅雨明けは6月28日で、平年より25日、昨年より16日早く、統計が残る1951年以降で最も早い梅雨明けだったそうです。日差しの強い猛暑日が長く続くのかと思いきや、気温は高いものの曇りや雨の降る日が多い夏となりました。このようなか、進められたことのほんの一部ですが、この紙面を借り紹介する運びとなりました。日々の業務の参考の一助になれば幸いです。

（指導課指導班 記）

ブログやっています。

“とやま水士里探訪ブログ”

で検索を！



<http://facebook.com/toyama.nousonsebi>